高専通信

苫小牧工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tomakomai College

VOL.142

2016年6月発行
〒059-1275　苫小牧市字錦岡 443
苫小牧工業高等専門学校　総務課総務係
TEL0144-67-0213
http://www2.tomakomai-ct.ac.jp　mail pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

入学式挙行される
副校長・各主事ごあいさつ
留学生の母国紹介／卒業式挙行される
地域への貢献と連携のために
　「地域共同研究センター」の果たす役割
教育理念

入学式挙行される

新入生へ贈る言葉

苫小牧工業高等専門学校 第九代校長
黒川 一哉

苫小牧工業高等専門学校の門をくぐられました二百八名の本科生、三名の外国からの留学生および十六名の専攻科生の皆さんに、教職員一同を代表してこころよりお祝い申し上げます。これまで育ててこられました保護者の皆様方におかれましては感無量であり、お慶びもひとしおのことと拝察申し上げます。

さて、本校は一昨年に創立五十周年を迎え、新たな五十年に向って第一歩を踏み出したところです。本日入学されました本科生は、従来の五学科制から一学科七コース制に改組した第一期生ということになります。これまでと同様に専門分野を大事にすることはもちろんですが、専門分野だけに満足せず、是非幅広い素養を本校で身に付けていただきたいと思います。皆さんの周りの産業製品を見てください。特定の専門分野だけで出来上がったものは無いはずです。いろいろな分野の秀でた特性を有機的に結合して優れた製品が出来上がっています。このような意味で、自分の専門以外の知識もある程度身に付けて総合的に判断できる人材となる必要があります。特に皆さんがこれから生き抜いて行かねばならない五十年は、個性化とともに多様化が求められる産業構造となってゆくことでしょう。

製品を社会に置き換えてもまったく同じことが言えます。すなわち、個々の特徴のある人々が有機的に繋がってひとつの社会構造が作られています。それが良い社会であるか否かは、お互いの考え方や特徴を相互に十分理解して成り立っているかどうかに依ります。皆さんには、ここ苫小牧高専で、学業とともに、多くの仲間たちとの繋がりも大事にしてゆく努力もしてもらいたいと思います。人は自分とは違った考え方や性格を持っているのが当たり前ということを先ずは理解し、その上でお互いを尊重し、助け合うことができるような幅広い寛容な心の養成にも是非努めてもらいたいと思います。このことは、皆さんが生き抜いて行かねばならないグローバル社会においても非常に大切な姿勢だと思います。

最後になりますが、本校で勉強をするにあたって特に大事なことを申し上げたいと思います。それは、「自ら学ぶ姿勢を持つこと」です。皆さんは、後期中等教育すなわち高等学校を経ずに、一足早く大学と同等の高等教育機関に入学されました。このことは、皆さんが既に「自ら学ぶための準備が整っている」と判断されたことを意味しています。本日の入学式にあたって、勉強あるいは学問は「教えられる」ものではなく、「自ら学ぶ」ものであるということを再確認していただきたいと思います。本校では教職員がそのためのサポートをしっかりとできるよう準備しています。気軽に担任をはじめとする教職員に相談するようにしてください。

皆さんが目標に向って一歩一歩前進し、充実した実り多い高専生活を送られますことを願っています。

平成二十八年四月六日

在校生からのMESSAGE

新入生のみなさん入学おめでとう!!

01

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今年から1年生は共通の授業となり、来年以降の学科選択で迷っている人もいるのではないでしょうか。

機械工学科は「４カ」を中心に実習なども行い、幅広い分野について５年間で学んでいきます。どの教科も面白く、また難しい面もありますが、興味を持てる人なら楽しめるのではないかと思います。

比較的自由な校風なのでやりたいことはどんどんやって後悔のない５年間を過ごせるように頑張ってください。

機械工学科5年 **鐙 優太**

02

これからの5年間、皆さんには様々な体験が待っていることでしょう。楽しいこと、大変なことすべてが自身の財産になりますよ。部活動は皆さんが想像する以上にたくさんのことを吸収できます。この「たくさんのこと」は学年が上がるにつれて感じるのでお楽しみに！様々な人と関われるチャンスが高専には豊富にあります。いろんな話を聞いて自分の将来を考えながら日々生活してみてください。部活動でも勉強でもこれをやり遂げたという事が１つでもできるような高専生活になりますように。

電気電子工学科5年 **島本 裕基**

03

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学してから2か月がたちますが高専生活には慣れましたか？今年度から創造工学科という新しい学科編成となり、この1年間は皆さんが2年生以降どの分野に進むかを決める大事な年になると思います。不安なことも多いと思いますが部活や寮の身近な先輩が必ず皆さんのことをサポートしてくれます。たくさん話を聞いて悔いの残らない選択をしてください。また、勉強だけでなく部活動や行事、遊びなど今しかできないことを全力で楽しんでください。皆さんの高専生活が充実したものになるように応援しています。

情報工学科5年 **中村 彩音**

04

新入生の皆さん、高専での生活はもう慣れましたか？応用化学・生物系では、幅広い化学分野を学生実験や座学を通して学ぶことが出来ます。他の系と比べるとレポートの量は少し多いですが、化学が少しでも好きな学生にとって、とても楽しみながら勉強していける系だと思います。特に今年度からは創造工学科ということで、4年間向き合うことになる専門分野を早めに決断して、第一志望の系に入れるよう成績上位を目指して頑張ってください。

物質工学科5年 **佐藤 理久**

05

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高専では将来、技術者として社会を担うために専門の勉強をします。今年から皆さんは創造工学科という新しい学科の1年生です。この1年で先生や先輩方から沢山話を聞いて、自分に合う学科を見つけて下さい。普通高校よりも自由な校風の高専で、どんな五年間を過ごすかは皆さん次第です。楽しい事も辛い事もあるけど乗り越えれば必ず力になります。様々な事に積極的に挑戦して、楽しく有意義な高専生活を送って下さいね。

環境都市工学科5年 **江本 百合絵**

1学年担任からのMESSAGE

創造工学科１期生の皆さんへ

入学して２ヶ月余り、複素数やらプレートテクトニクスやら、また２時間続きの英会話授業や、木曜午前に４時間ぶっ通しで行われる新科目「創造工学Ｉ」など、新鮮味と興味を持って高専の勉学に取り組んでいることと推察します。基本的なことですが、授業時間と休み時間のけじめ（私語やスマホのオンとオフ）、他の人に対するリスペクト（特に自分と価値観が異なる人への）、そしてＳＮＳ使用上のマナーを忘れないように。そして、来年の今頃は希望する専門系に所属できているよう、前期中間試験明け以降も学業にしっかり励んでください。（写真：2014年ニュージーランド研修引率時のEIT授業最終日記念撮影、後列左端が筆者）

1年1組 担任
堀 登代彦

新入生を迎えて

ご入学おめでとうございます。１年２組担任の金野幸吉です。１年間どうぞよろしくお願い致します。今年度の１年生はこれまでにない混合学級の導入で、色々な方向性の学生が入り混じったこともあり、４月はかなり緊張した面持ちをしていたように思います。しかし、洞爺でのオリエンテーションを境にクラスの雰囲気も和やかになり、友達の輪も広がりつつあるように感じられます。これからの５年間、勉強だけでなく様々なことに興味関心を持ち、有意義な学生生活を送ってほしいと思います。大きな成長を期待しています。

１年2組 担任
金野 幸吉

新入生へ

今年の３月に、数年前まで世界ランキング1位であったプロ囲碁棋士がGoogle DeepMind社が開発した人工知能と対局しました。結果は４勝１敗で人工知能が勝ち越し、「知」を競う分野で人間が圧倒的大差で負けたことは世界中に衝撃を与えました。新入生の皆さんが高専を卒業し、社会で活躍するころには、人工知能も社会の中で活躍しはじめているかもしれません。学生の皆さんにはどのような未来にも対応できる人材に育ってもらいたいと思います。

１年3組 担任
高橋 労太

大事なものは目に見えない

1年生のみなさん、ようこそ苫小牧高専へ。私自身はじめての担任なのでみなさんの同期としてメッセージを贈りたい。

みなさんには高専生活の中で、五感を通じて豊かな心を育ててほしい。大事なものは目には見えない。知識も大事だけど、相手の気持ちを考えてあげられることも大事。自分のことを自分で決め、自分でする。十代後半とはそういう年代だと思う。人のせいにしながら生きていくのって楽しくないでしょう？

１年4組 担任
宮崎 晃行

創造工学科１年のみなさんへ

入学してから2ヶ月近くが経ち、高専生活にも慣れてきたことでしょう。高専で過ごすこれからの5年間は、みなさんにとってとても大切な時期です。学問に取り組み、心身を鍛え、友情を深めることで、卒業後に続く長い人生の基盤をしっかり築いてほしいと思います。みなさんが入学した新設の「創造工学科」の英語表記は、「Department of Engineering for Innovation」です。Innovationは「革新、刷新」という意味です。みなさんの柔軟な思考力や行動力で、未来を新たなものに変えていきましょう。

１年5組 担任
松田 奏保

副校長・各主事ごあいさつ

『次世代高専』へ

副校長
（総務主事）
中野　渉

昨年度から副校長（総務主事）を担当している創造工学科の中野です。広報・国際交流・点検評価・施設・防災などについて、総務主事補の近藤崇先生、二橋創平先生や関係教職員と協力して仕事を進めています。

さて、四月から「創造工学科」が一期生を迎えてスタートしました。新学科の英語名には〈イノベーション〉が含まれており、革新・起業の精神を育てることを目指しています。一学科制導入は全国で四番目。次年度以降いくつもの高専が同様の制度に移行します。フロントランナーとして、よい教育システムに育てたいと考えています。また、ビジネス、デザイン、国際コミュニケーションなど新分野を担当する先生も新たに採用され、現在の二年生以上の教育にも新風が吹き込まれるものと期待しています。

本校では昨年、機械棟・体育館などの改修が済みましたが、今年も、食堂や新学科関連の改修が行われる予定です。みなさまには、次の時代を創る学生諸君のために、本校の取り組みへのご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶

副校長
（教務主事）
八田 茂実

昨年度に引き続き教務主事を仰せつかりました八田です。教務主事補の中島先生、池田先生、三上先生、全教職員と協力してより良い学校を目指します。本校ではこれまでの5学科体制を1学科5系の創造工学科に再編し、この4月に一期生となる1年生を迎え入れました。新学科では、クラスの枠を超えた授業を増やすなど、新しい取り組みを進めています。一方、2年生以上の皆さんはこれまで通り、現在所属している学科に所属し、それぞれの学科の教育を受けることになりますが、ICT教育やアクティブラーニングなどを取り入れ、よりよい教育環境を提供できるよう進めてまいります。保護者・地域・同窓生のみなさまには、未来を担う学生達のためにご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

ご挨拶

副校長
（学生主事）
下夕村 光弘

昨年度に引き続き、学生主事を務めます創造工学科の下夕村です。佐藤森先生（応用化学・生物系）、高澤先生（機械系）、長澤先生（総合自然科学系）の学生主事補の先生方とともに、全教職員の協力を得ながら、学生の指導・支援にあたってまいります。

学生の主体性を尊重しつつ、健全な学生生活を送れるよう指導してまいりたいと思います。本年度も、保護者の皆様のご理解とご協力を賜り、学生が健全に精神的・身体的成長ができるよう、教職員一同支援していきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶と学生寮の近況

副校長
（寮務主事）
三河 佳紀

寮務主事を務めております情報科学・工学系の三河です。現在学生寮では留学生11名を含め男子306名、女子55名の合計361名が寮生活を送っております。私の他、寮務主事補の先生方、寮事務を中心に複数の教職員が日々協力し寮生指導にあたっております。新入寮生も緊張した日々を過ごしていたようですが、2カ月が経過し徐々に寮生活にも慣れてきたように見受けられます。また、5年生指導寮生も卒業後の進路が順調に決定しているようです。学生寮ではすでに、全寮生を対象とした寮生会主催の新入寮生歓迎会、学生寮防災訓練などが行われており、6月には寮祭が開催されます。寮生会が企画した各種イベント、スポーツ大会の他、学校長を招いたジンギスカン昼食会などが予定されています。

保護者の皆様におかれましては、今後の寮運営に際し様々な場面でご協力を得なければならないことが多々ございます。皆様のご理解とご協力を今後ともよろしくお願い致します。

ご挨拶

副校長
（専攻科長・研究主事）
平野 博人

副校長（専攻科長・研究主事）を務めております応用化学・生物系の平野博人です。専攻科の専攻主任を阿部司教授（電子・生産システム工学専攻、情報科学・工学系）、清水祐一教授（環境システム工学専攻、応用化学・生物系）にお願いしております。

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門知識及び技術を教授し、その研究を指導し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。教育の高度化、研究力の向上が求められており、地元企業と連携した共同教育やグローバル化に対応した教育活動、特別研究の質の向上を推進しています。また、今年度は教育の質の保証のための第三者評価である日本技術者教育認定機構（JABEE）の継続審査を受審いたします。

更なる教育・研究改善を目指し、専攻科スタッフ一同、力を合わせて参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

新任教員ごあいさつ

ご挨拶

総合人文科学系・特命助教として着任いたしました、若木愛弓と申します。教科は英語です。

出身は長崎県の佐世保市です。筑波大学・大学院でアメリカ文学を学んだのち、昨年度一年間は札幌市内の私立高校で英語科の教員として勤務しておりました。研究分野は20世紀アメリカの文学・文化です。本校では大学在学中の海外留学や国際交流の経験などを職務に活かしていければと思っております。また、学生の皆さんとは学業や日々の生活のことなど、色々な話ができれば嬉しいです。

どうぞよろしくお願いいたします。

総合人文科学系
若木 愛弓

今後の抱負

北大工学部の教員（金属材料研究）、中小企業支援機関（ベンチャー企業支援担当）、北大産学・地域協働推進機構の専門職員（地域連携、工学系特許担当）を経て、着任しました。今後の抱負として、教育面では将来の起業化人材やプロジェクト管理者を育成するためのプログラムの構築と実施、そして社会貢献面では自治体や企業、その他関連機関との連携を今以上に深め、地域課題に対応していくこと、と考えております。皆様のご協力なくてはできません。

どうぞよろしくお願いいたします。

機械系
須田 孝徳

教育の理想形

高専の特長は早期からの専門教育です。人は年齢とともに物事を経験し、やがて自分の環境に適う範囲にのみ関心を狭め、思考が凝り固まっていきます。しかし、現代社会ではどのような仕事に就いてもクリエイティブマインドが必要とされます。それゆえ、柔らか頭で居続けること、いや如何に視野を広げ様々な事物に柔軟に関心を持ち続けられるかが肝要です。それを自身が実践し、その姿勢を学生に示し続けることが私の教育の理想です。

都市・環境系
長谷川 聡

着任のご挨拶

4月より、応用化学・生物系に着任致しました藤田彩華と申します。私は本校で物質工学科、環境システム工学科と7年間在籍した後、北海道大学大学院へ進学しました。今年、5年振りに教員として本校に戻ってくることができ、大変嬉しく思っております。卒業後に校舎改修があり、私が在籍していた頃とは建物の様子がガラリと変わり、母校でありながら母校ではない新しい場所へ来たような感覚でした。しかし、学生の活気や雰囲気には変わりがないようで、学生の皆さんを見て自分の学生時代が思い出され、懐かしんでおります。

最後になりますが、学生の皆さんが本校で充実した学生生活が送れるように手助けができればと思います。これから、どうぞ宜しくお願い致します。

応用化学・生物系
藤田 彩華

Welcome to the Tomakomai college

New foreign students
新入留学生紹介

from Mongolia
高専に入学した印象

日本で留学して1年経ったけど日本人に囲まれた生活は今年の四月に苫小牧に来た時から始まった。最初は日本人の学生とはどんな人たちだろうと楽しみにしていた。そしたらみんなすごく優しいうえに高専で勉強する意思が強いなと考えられた。みんな自分の意識や趣味に従って楽しく頑張ってる様子を見て私も少しでも励まされた。嬉しいことに、クラスメートたちは色々助けてくれて心配せずに楽しく勉強している。

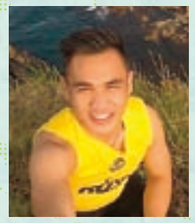
先生たちも本当に優しく教えてくれているから先生たちを失望させないように心を込めてもっと頑張りたいという気持でいっぱいになった。その上に、高専での実験を身に付けるのが一番目の希望なのでこれからの実験も頑張って高専での三年間を充実に過ごしたいと思っている。

環境都市工学科3年
オトゴンテンゲル ゲレルチメグ（ゲーゲ）

from Malaysia
"やっと"

日本に着いたのは、4月4日だった。前は、留学できる先輩を見ると、"私も、留学できればいいなあ、と自分に言われていた。これを実現するため、勉強に励んで、留学の奨学金が受けられるためである。数年後、USと日本からの奨学金を提供されたけど、日本で留学しようと決心した。これが、いろいろな日本のことを学びたくて、外国語が専門できるし、喋るし、本当に良い点だと思うからだ。

さて、日本に来る前、日本についてたくさん疑問があって、心配になった。しかしながら、苫小牧高専に来たばかり、先生に限らず、皆友達も私に優しかった。もう一ヶ月間立って、気が付かずに、たくさん親友できた。この一ヶ月間中皆に助けてくれて、色々おせわになった。これのおかげで、苫小牧での生活は面白くなりつつあって、安心した。皆 後 三年間勉強に頑張りながら、お互いに自国の文化も共有することを忘れずに、楽しみにしている。



機械工学科3年
ダミアン メリン ケビン（ダミアン）

from Malaysia
TOUGH LIFE

日本に来たのは4月5日だった。留学できる国はたくさんあるが、日本を選びました。なぜかというと、日本人の文化と日本の色々な技術が知りたいからです。苫小牧に来たばかり、すごく寒く感じて、熱がありました。でも、今はもう慣れてきました。

高専で勉強できるのはいい経験だと思いました。勉強だけでなく、友達を作ってもできるからです。クラスで、皆、優しくて、色々なことを手伝ってもらいました。

これからの三年間も楽しい生活をしたいから、頑張るつもりです。

物質工学科3年
エムリン マンス アムレ（エムリン）

学生会の紹介

学生会長 電気電子工学科5年
佐藤 楓

こんにちは。新入生が入学してから早二か月が経ちました。5月末の現在まで、学生会は対面式や、第一学年オリエンテーション内での学生会懇談会等、新入生に向けての活動が中心でした。これから春季体育大会や学校祭など、一年生が積極的に行事に参加する機会が増えてきます。学生会では行事の円滑な運営はもちろんのこと、一年生が初めて積極的に活動する行事で困らないよう積極的にサポートを行っていきたいと考えています。

留学生の母国紹介

電気電子工学科５年
Chua Teong Zhe
（チュア）君

現在、本校ではマレーシア、カンボジア、モンゴルの３カ国から11名の留学生が学んでいます。

今回はその中から、電気電子工学科５年のチュア君にマレーシアの紹介をしてもらいます。

ツインタワー

マレーシアとは？

日本では、マレーシアを知らない人が多いと思われる。「マレーシアってどこ？」、「季節あるの？」っていった質問は日本に来たときよく聞かれたものだ。

地理

マレーシアは、赤道の近くにある。また、西半島と東半島に分かれていて、西半島はタイとシンガポールとの間にあり、東半島はカリマンタン島北部、インドネシアとフィリピンとの間にある。赤道の近くにあるということで、季節がなく、一年中夏である。熱帯雨林でもあり、すごく蒸し暑いところである。

また、東半島の上半であるサバ―(Sabah)州にキナバル山があって、標高4095mあり、東南アジアで一番標高の高い山である。

キナバル山頂上
（高さ 4095m）

民族

マレーシアは多民族の国であって、主に三大種族（マレー系、中華系、インド系）に分けられる。三大種族のほかに、色々な民族もある。多民族の国であるので、文化も民族によって異なるし、民族の料理や行事などももちろん違ってくる。

お正月

マレーシアのお正月は一年に3回ある。三大民族のお正月に分けられ、マレー系は「ハリーラヤ」、中華系は「旧正月」、インド系は「ディパヴァリ」とそれぞれいうが、3つとも国の祝日になっていて、民族に関係なくみんなで一緒に祝うことになっている。

言語

民族にもそれぞれの言語があるが、マレーシアの国語はマレー語である。また、イギリスに支配されたこともあって、その影響で英語も頻繁に使っている。その他、中華系の中国語、インド系のタミル語、などといった民族別の言語もある。言語が色々存在する中で、マレーシア人同士で会話する場合は、2つ以上の言語をごちゃまぜにしながら会話することも珍しくない。

INFORMATION

[学生課からのお知らせ]

本校の学生課は、担当する業務によって４つの係に分かれています。学生生活に直接関係のある各係の主な業務は次のようになっていますので、問い合わせや連絡は各係の直通電話をご利用ください。

なお、学生課には、保護者の皆様などから、電話での問い合わせや連絡などが多数寄せられます。こうした電話に対して、「担当係（担当者）に代わります。」などと、電話を回すことで、ご不便をおかけすることもありますが、担当係（担当者）ごとに専門の業務を分担しておりますことをご理解願います。また、学生の呼び出しや伝言等の取り次ぎについては、緊急を要するもの以外は行っておりませんので、ご承知おきください。

教務係　直通電話 0144-67-8001

- 授業、試験に関すること
- 休学、復学、退学及び進級、卒業に関すること
- 在学証明書、成績証明書、卒業証明書など学生の諸証明に関すること
- 学生証の申請に関すること
- 担任に連絡がつかなかった場合の欠席等の連絡

学生係　直通電話 0144-67-8032

- 奨学金（日本学生支援機構等）に関すること
- 入学料、授業料の免除等に関すること
- 学生の保健管理（カウンセリングの申込等）に関すること
- 学生の課外活動、行事等に関すること
- 学生旅客運賃割引証及び通学証明に関すること
- 就職、進学（大学への編入学試験等）に関すること

寮務係　直通電話 0144-67-8002

学生寮教員当直室（夜間緊急用 17:15～8:30） 0144-67-8024

- 学生の入寮及び退寮に関すること
- 寮費の徴収など諸経費に関すること
- 緊急の場合の外泊の連絡

図書係　直通電話 0144-67-8907

- 図書の閲覧、貸出しに関すること
- 学術文献の収集及び提供に関すること
- その他学術情報センターに関すること

行事予定

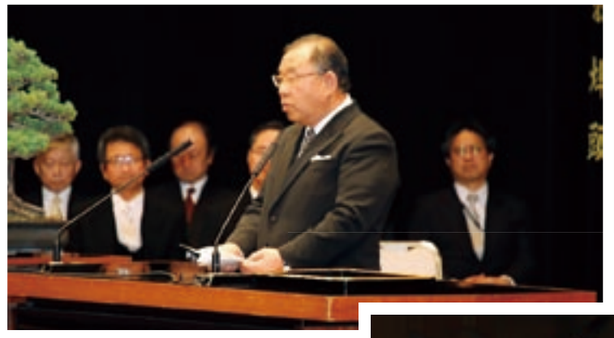
前期

4/ 1（金）～ 4/ 5（火）	春季休業
4/ 5（火）	新入寮生入寮日
4/ 6（水）	入学式・2～5年生入寮日
4/ 7（木）	始業式・対面式・第1学年ガイダンス・健康診断
4/ 8（金）	前期授業開始
4/20（水）	開校記念日・歯科検診
4/21（木）	内科検診
4/28（木）	授業参観日
5/12（木）～ 5/13（金）	第1学年オリエンテーション
5/24（火）	学生総会
6/ 6（月）～ 6/10（金）	前期中間試験週間 ※第3学年オリエンテーション（各学科1日）
6/17（金）～ 6/18（土）	寮祭
6/21（火）	春季体育大会
7/ 5（火）	壮行会
7/ 9（土）～ 7/10（日）	道内高専体育大会(※一部の競技を除く)
8/ 3（水）～ 8/ 9（火）	前期定期試験
8/11（木）	閉寮日
8/12（金）～ 9/23（金）	夏季休業
9/25（日）	開寮日

後期

9/26（月）	後期授業開始
10/ 6（木）～ 10/ 7（金）	第2学年総合研修旅行
10/16（日）	ロボコン
10/22（土）～ 10/23（日）	高専祭
11/ 4（金）	保護者懇談会
11/ 8（火）～ 11/11（金）	第4学年工場見学旅行
11/28（月）～ 12/ 2（金）	後期中間試験週間
12/23（金）	閉寮日
12/26（月）～ 1/ 6（金）	冬季休業
1/ 9（月）	開寮日
1/12（木）	総合試験日
1/17（火）	冬季体育大会
1/23（月）	リーダー研修会 ※学生総会
2/ 8（水）～ 2/14（火）	後期定期試験
2/23（木）	閉寮日
2/24（金）～ 3/16（木）	臨時休業
3/17（金）	卒業式・修了式
3/21（火）～ 3/31（金）	学年末休業

卒業式挙行される



卒業生へ贈る言葉

苦小牧工業高等専門学校　第九代校長　**黒川一哉**

卒業生並びに修了生の諸君、本校での所定の学業を大きな成果を持って終えられましたことに、教職員を代表してお祝いを申し上げます。

諸君は、これから前途洋々たる大海原に船出することが多いと思います。諸君は、これまでご家族や先生、友人に守られて育ってきました。しかし、これからは自分自身の手で船を漕いで進んでゆかなければなりません。自分がしたこと、言ったことに対する責任はすべて自分が負わなければいけません。船出するにあたって、先ずは、このことをしっかりと自覚していただきたいと思います。言い換えますと、周囲の評価に惑わされ自分を見失うことなく、自分の信念のもとに生きてください。

諸君がこれから生きてゆく世界は、人口の急激な増加に伴う食糧問題、エネルギー問題、環境問題、医療・福祉問題などなどグローバルな視野に立って取り組まなければならない課題が山積しています。一方、我が国の動向について見てみますと、世界とは逆に急激な人口減少に伴う労働人口の大幅な減少が推測されています。今後は、いわゆるこれまでの大企業中心の集約的産業構造から優れた技術・特色・特徴を有した企業が生き延びてゆく構造へ移行して行くことになるでしょう。加えて、純粋培養型企業からいわゆる外国人、外国企業との積極的共生が必要になってくるでしょう。ご存知の通り、技術分野など多くの分野で、グローバル化は既に始まっています。諸君が生きてゆく時代は正にグローバル時代まっただ中なのです。そのことを十分に自覚して、諸君がやりがいのある時代を生き抜いていくことを期待しています。

卒業生、修了生諸君のこれからの社会での大いなる健闘を祈念し、卒業と修了のお祝いを申し上げます。

平成二十八年三月十八日

卒業生から贈る言葉

5年間の高専生活を終えて

機械工学科卒業生
小山内 創太

「ものづくりが好き」という単純な志望動機で入学して早5年。入学当初は、自分が興味のある学問の他にも学ぶことが多々あり、苦労したのを覚えています。しかし、工夫した授業をしてくださった教職員の方々や、切磋琢磨し合った級友達のおかげで、次第に学ぶこと自体が楽しく感じられるようになりました。

5年生になると卒業研究が始まり、研究発表会において自分が研究した内容をうまく伝えられず苦労しましたが、卒業研究を通して得たものは多く、これからの基盤となったことを確信しています。

今、こうして卒業を迎えることができるのも、親身に、時に厳しく鞭撻して下さった教職員の方々や、苦しい時も楽しい時も共に過ごした級友達、これまで支えてくれた両親のおかげです。この場を借りて深く感謝を申し上げます。

最後に在校生の皆さまへのメッセージです。高学年になるに連れ、時間が過ぎるのはあっという間になります。悔いの残らないように、充実した高専生活を築いてください。

5年間の高専生活を終えて

電気電子工学科卒業生
早坂 整

高専に入学してから5年の時が流れ、卒業を迎えることとなりました。

5年間を振り返ると休み時間にいろいろな話をしたことや高専祭、体育大会で盛り上がったことなどクラスの仲間との楽しい思い出が浮かんできます。進級するにつれて難しくなる専門科目や毎週の実験レポートも仲間と協力しながら乗り越えることができました。そんな仲間達と5年間ともに過ごせたことを本当に良かったと思っています。

4月からは社会人として新しい生活が始まります。これまでとは大きく変わる環境に不安なことだらけですが、必ずうまくいくと信じて頑張りたいと思います。在校生の皆さんも勉強、部活、進路など大変なこともあると思いますが、一生懸命やっていれば必ず良い結果につながるはずです。頑張ってください。最後になりますが、5年間ご指導いただいた先生方、ともに過ごした仲間達、見守ってくれた家族に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

卒業生からの言葉

5年間の学生寮での生活では、信頼できる気の置けない友人ができました。また学生寮の行事や、部活動に積極的に参加したことで、たくさんの先輩・後輩に出会い、縦のつながりができました。先に卒業された先輩から、就職や進学に関するアドバイスをもらうこともありました。頼れる人を学校生活のなかで見つけられたことで、豊かな高専生活をおくることができたと思います。みなさんも、行事や部活には、ぜひ積極的に参加しましょう。

勉学の面では、実験レポートや試験の勉強は大変でしたが、そのぶんしっかり技術を身につけることができました。また、EIT研修は、英語能力を身に着けられただけではなく、土地の文化を学ぶこともできたので、とても有意義なものでした。実験や研修を通して、たくさんのことを学べることは、苫小牧高専の魅力だと思います。

5年間を通してだけでなく、最後の1年、1か月、1週間でも得られるものはあります。在校生の皆さんも、これからの1日1日を大切に、良い高専生活を送ってください。

最後に、熱心な指導をしてくださいました先生方、私生活でも支えてくれた友人、先輩、後輩の皆様、家族にお礼申し上げます。ありがとうございました。

情報工学科卒業生
山下 奈津実

5年間を振り返って

5年間を振り返ると、部活の思い出がまず始めに浮かびます。高専は遊び程度の部活動が目に付きますが、私は高専では珍しいハードなサッカー部に所属していました。ほぼ毎日練習があり、練習もきつくて、土日も一日中拘束されることがしばしばでした。先輩もこわくて、フリーキックの壁をやらされたり、雑用を必死にやったり、学年みんなで土下座させられることもありました。勉学との両立が大変で、夜遅くまで部活をした後に、レポートなどの課題をこなすのはとても辛かったです。顧問の先生はよく「社会人は複数の仕事を抱える。それをこなす力が必要だ。」と仰っていました。その言葉がすごく印象に残っています。先生の仰られたこの力は卒業しても非常に役立つと思っています。

部活やクラスのみなさん、そして教職員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。特に、サッカー部の大橋先生、卒研担当の橋本先生、クラスメイトの小熊くん齊藤さん、ありがとうございました。

物質工学科卒業生
蛸島 薫

「苫高専に対して、礼!!」

私は、この場を借りて感謝の言葉を述べたいと思います。

5年間にわたって授業、実習だけでなく様々な場面においてたくさん迷惑や心配をお掛けしましたが、最後までご指導をしていただいた環境都市の先生方、本当にありがとうございました。

野球部の顧問をしてくださった先生方には5年間本当にお世話になりました。日々の練習や試合で学んだことは忘れません。5年間ありがとうございました。

あっという間の5年間だったけど、とても濃い5年間を過ごせたのは環境5年のクラスメートのおかげだと思います。道外研修旅行や日々の日常では色んなハプニングがあり、面白くてたくさん笑いました。私はこのクラスの一員で本当に良かったと思います。5年間本当にありがとう。

後輩達へ～私の5年間の高専生活を振り返ると、楽しかったこともたくさんあったけど、つらかったこともたくさんありました。でも、どんなことも必ずいい経験・思い出になると思います。なので、これからの学校生活もいっぱい楽しんで、いっぱい思い出を作ってください！

環境都市工学科卒業生
楠 章哉

7年間の高専生活

私は情報工学科で5年間、電子・生産システム工学専攻で2年間、合わせて7年間苫小牧高専で過ごしました。本科時代は部活動に参加しつつ、勉強や課題・レポートに追われてとても苦労しましたが、友人と協力してどうにか乗り切ることができました。専攻科でも課題・レポートに追われることになりましたが、本科時代での知識では足りず、独学で幅広く勉強をしました。様々な面で成長できた楽しい7年間でした。今の苫小牧高専を卒業できたことを誇りに思います。

勉強、部活動、学校行事はもちろん、インターンシップ、旅行など、高専生活でできることはいくらでもあります。できること、やりたいこと、なんでもやってみてほしいです。結果がどうであれ、卒業する時には良い経験や思い出になるはずです。

最後になりますが、ご指導していただきました先生方、ともに学生生活をともに過ごした友人たち、学生生活で関わった全ての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

電子・生産システム工学専攻修了生
齋藤 宥杜

贈る言葉

苫小牧高専に入学してから早7年、人生の3分の1程のときをこの学校で過ごしました。親元を離れ、不安と期待を胸に始まった高専生活もいま終わりを迎えようとしています。卒業にあたり7年間を振り返ると思い出すことは、テストやレポートで苦労したことなどではなく、仲間と笑いながら励んだテスト前日の徹夜勉強、本気で勝ちにいった体育大会、油にまみれた高専祭、木を切りまくった卒研、朝までふざけあい騒いだ日々など、仲間と共に過ごした時間でした。これはきっと私にとって一生の財産になることでしょう。

高専での生活は思いのほか短い。在校生の皆さんは、仲間との絆を深め、今を全力で楽しみ残りの高専生活を存分に謳歌してください。

最後になりましたが、数々のご指導、ご鞭撻を賜りました先生方、共に過ごした友人一同に、厚く御礼申し上げます。

環境システム工学専攻修了生
田中 晴也

就職と進学

平成27年度本科卒業者及び専攻科修了者の進路状況について

キャリア教育センター長 平野　道雄

平成27年度（平成28年３月）の本科卒業生及び専攻科修了者の進路状況は、次の表の通りです。

平成27年度本科卒業生進路状況

学 科		機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	物質工学科	環境都市工学科	合計
求人会社数		534	526	423	346	427	2,256
卒業者数	男	26	34	21	26	32	139
	女	0	2	7	9	5	23
進学者数	男	13	10	7	7	7	44
	女	0	0	3	4	0	7
企業等	男	13	22	13	18	18	84
	女	0	2	4	4	4	14
公務員	男	0	0	1	0	7	8
	女	0	0	0	1	1	2
進学先		北海道大学、室蘭工業大学(2)、茨城大学、金沢大学、長岡技術科学大学(4)、豊橋技術科学大学、苫小牧高専専攻科(3)	室蘭工業大学(2)、東京農工大学、岩手大学、長岡技術科学大学(2)、苫小牧高専専攻科(4)	北海道大学、小樽商科大学、室蘭工業大学、豊橋技術科学大学(2)、苫小牧高専専攻科(5)	北海道大学(3)、室蘭工業大学、東京農工大学、信州大学、茨城大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、苫小牧高専専攻科、日本航空大学校(専)	金沢大学、長岡技術科学大学(2)、苫小牧高専専攻科(3)、Education First(Boston)	
就職先		旭化成㈱、コニカミノルタビジネスソリューションズ㈱、ジョンソンコントロールズ㈱、セイコーエプソン㈱、ダイキン工業㈱、日本ゼオン㈱、日本電産㈱、北海道エア・ウォーター㈱、㈱JPハイテック、㈱ホクエイ、㈱明電舎、㈱ワーカム北海道、SOLIZE Engineering㈱	NTTコムエンジニアリング㈱(2)、出光興産㈱北海道製油所、北ガスジェネックス㈱、国策機工㈱、ジャパンマリンユナイテッド㈱、シンセメック㈱、住友電設㈱、綜合警備保障㈱、中部電力㈱、東芝エレベータ㈱、東芝プラントシステム㈱、東芝メディカルシステムズ㈱、苫東コールセンター㈱、日本海陽掘削㈱、北海道パワーエンジニアリング㈱、北海土地改良区、三菱電機特機システム㈱、㈱NTTファシリティーズ北海道、㈱ダイナックス、㈱もりもと、㈱リコー、三菱電機ビルテクノサービス㈱、ANAラインメンテナンステクニクス㈱	ウェルネット㈱(2)、KDDIエンジニアリング㈱、NECフィールディング㈱、キヤノンシステムアンドサポート㈱、コニカミノルタビジネスソリューションズ㈱、セイコーエプソン㈱、苫小牧港開発㈱、北海道旅客鉄道㈱、㈱DNP情報システム、㈱I・TECソリューションズ、㈱NTT-ME、㈱SEC、㈱アルファシステムズ、㈱日本デジタル研究所、㈱ハイマックス、㈱北海道ジェイ・アール・システム開発、航空自衛隊	花王㈱(3)、出光興産㈱(2)、JSR㈱、旭化成㈱、岩倉化学工業㈱、関東化学㈱、住鉱国富電子㈱、第一三共ケミカルファーマ㈱、中外製薬工業㈱、千代田テクノエース㈱、日触テクノファインケミカル㈱、日本乳化剤㈱、フォスター電機㈱、ホクレンくみあい飼料㈱、北海道ガス㈱、ロイズコンフェクト㈱、㈱希松、㈱ユニシス、星光PMC㈱、苫小牧市	NTTインフラネット㈱、岩倉建設㈱、岩田地崎建設㈱、大阪ガス㈱、五洋建設㈱、サンコーコンサルタント㈱、新日鐵住金㈱、東亜道路工業㈱、東洋建設㈱、西松建設㈱、北海道ガス㈱、北海土地改良区、三井造船鉄構エンジニアリング㈱、㈱NIPPO、㈱NTT-ME、㈱ガイアートT・K、㈱開発工営社、㈱ズコーシャ、㈱中山組、㈱西村組㈱ネクスコ・メンテナンス北海道、㈱北海道水工コンサルタンツ、北海道開発局(2)、札幌市(2)、苫小牧市、千歳市、恵庭市、洞爺湖町	

平成27年度専攻科修了者生進路状況

専 攻		電子・生産システム工学専攻	環境システム工学専攻	合計
求人会社数		531	436	967
修了者数	男	9	11	20
	女	0	1	1
進学者数	男	0	3	3
	女	0	0	0
企業等	男	8	5	13
	女	0	1	1
公務員	男	0	3	3
	女	0	0	0
進学先			北海道大学大学院(3)	
就職先		KDDIエンジニアリング㈱、竹田設計工業㈱、フジテック㈱、㈱I・TECソリューションズ、㈱小松製作所、㈱牧野フライス製作所、田中貴金属工業㈱、東芝三菱電機産業システム㈱、	DIC㈱、伊藤組土建㈱、日揮プラントイノベーション㈱、㈱日本触媒、㈱希松、北海道土地改良事業団体連合会、札幌市、旭川市(2)	

平成27年度の進路状況の特徴としては、企業の採用活動が活発であったため、本科生、専攻科生対象の求人会社数が４年連続で増加する中、卒業者と修了者のうち就職は3分の2（うち、道内が４割、道外が６割）、進学は3分の1と例年と同様の傾向で、進路決定率はほぼ100%となりました。本校の教育活動の成果として卒業生の活躍が企業や大学から高く評価されている結果と考えております。

しかしながら、本校を巣立つ時の進路決定は一つの節目ではありますがゴールではなく、激しく変化する社会に対応し、学生時代に実践的な専門性を身に付けるとともに、課題発見能力や国際的な視野に立って生涯にわたり学び続ける力を身に付けることが求められています。

こうしたことを踏まえ、キャリア講話や創造工学科としてスタートした１年生の「創造工学Ⅰ」の授業などを通して、学生にコミュニケーション能力、チームワーク、協調性、社会性、多様な価値観への理解、広い視野などをもたせる指導の充実を図りながら、低年次からの組織的、体系的なキャリア教育の一層の推進に取り組んでまいります。

父母の言葉

これからの人生で大切にして欲しい事

機械工学科卒業生 **今岡 優樹** ｜ 母: **今岡 奈美江**

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆様、充実した高専生活を過ごされたことでしょう。今、この時を迎える事が出来たのは、皆様の努力に加え、ご両親や友人など、たくさんの人たちの様々な思いが支えてくれたお蔭です。

人は、自分ひとりで生きていける訳ではありません。これからも、たくさんの人たちとの出会いと別れを繰り返していくことでしょう。その人たちとの関わり方次第で人生が楽しいものにも苦しいものにもなると思います。それは、自分がその人たちにどのように接するのか、どのように関わっていくのかで変わってくるものです。

たくさんの想い出を胸に、これからも周りの人たちを大切にして、素晴らしい人生を送ってくださいね。

そして、優樹へ。

卒業おめでとう！　他の学生さんよりも、ちょっとだけ多く高専生活を過ごしましたが、その一年間は決して無駄ではなかったと思っています。

入学から三年間を共にした仲間と離れ、新たな仲間との学校生活をスタートする、この再スタートにはいくつもの苦労があった事でしょう。それを跳ね除けて学生生活をやり切ったのは、貴方をきっと人間として大きく成長させてくれたことと思います。そして、悪天候の日でも自宅の札幌から苫小牧まで、ほぼ遅刻も欠席もせず通いとおしました。とても立派でしたよ。

この学生生活を糧に、これからも優しさを忘れず、樹のごとく芯のある人間に成長してください。これからの成長を楽しみに見守っています。

息子の卒業にあたって

電気電子工学科卒業生 **久保田 颯** ｜ 父: **久保田 太郎**（苫小牧高専OB）

みなさん卒業おめでとう。私は、君たちと同じ苫小牧高専の卒業生です。卒業して20年以上たちますが、いまだに、5年間一緒に過ごした当時の仲間のことを思い出します。私が在学中は、冬季体育大会で、長靴ではないアイスホッケーの試合がありました。1年生のときに決勝に進出して相手は5年生でしたが、ハイランドでの決勝戦で「1年あたれー！」と声援が飛び交い、会場全体が熱くなりました。イベントがある度にクラスが一致団結し、マラソン大会では、準優勝１回、優勝４回と輝かしい成績でした。勉強も大変でしたが、5年間、いろんな行事で盛り上がり仲間としての絆が深まったと思います。

卒業して、また、親になって感じたことですが、大学と大きく違うのは、先生方が、学生個人のことをきちんと見てくれる、ということです。非常に感謝しております。先生との面談のときに、「先生たちは絶対に生徒を見放さない」とおっしゃったことに感激しました。

みなさんは、クラスメイトとの絆や、先生方の熱心な指導のもとで学べたことに誇りを持ってください。最後に今後の活躍に期待します。

Photo Gallery

地域への貢献と連携のために「地域共同研究センター」の果たす役割

地域共同研究センター長　**菊田 和重**

平成28年度より苫小牧工業高等専門学校地域共同研究センターのスタッフが入れ替わり下図に示すような新体制になりました。センター長には菊田（機械系）が着任し、経験豊富な岩波副センター長（応用化学・生物系）が強力にサポートしてくれます。また、センター委員や事務職員などの構成メンバーが刷新されました。今年度は、昨年度着任した北海道地区産学官連携コーディネーターの鴨田特命教授に加えて、産学連携や知財に関するキャリアを積んだ須田特命教授（機械系）が北海道大学から本校に着任し、一層強力な体制が整いました。

今年度も出前授業や公開講座をはじめとする事業により地域貢献を図るほか、各種イベント・展示会での発表・出展等を行うことで本校のプレゼンスの向上に努めていきたいと考えております。教職員ならびに学生諸氏の多大なるご協力を頂戴できればと思っております。

さて、苫小牧地域には４０００を超える企業・事業所があると聞いております。これまでは地域企業との連携ということにおいては必ずしも十分なものになってはおらず、一層の活性化が必要であると感じております。そこで今年度は、地域企業のニーズを積極的に引き出し、学校が持っているシーズなどへ上手にマッチングを図っていくシステムを構築する基盤づくりを行いたいと考えております。これを実現することにより、企業からのニーズをベースとした課題解決型の実践的な演習が可能となるほか、共同研究などへの発展につながっていくことになれば理想的であると思っております。これは地域共同研究センターのみでは実現不可能であるため、苫小牧市、商工会議所、テクノセンター、道央産業振興財団、信金などとさらなる強固な連携を図るほか、協力会をはじめとする地域企業との密なる情報交換が必要であると思われます。

地域共同研究センター一同で頑張りますので、ご支援をよろしくお願い致します。

苫東視察会の様子

出前授業の様子

イベントへの出展

独立行政法人国立工業高等専門学校機構**苫小牧工業高等専門学校**

地域共同研究センターの体制（平成28年4月1日～）

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443番地
HP http://www2.tomakomai-ct.ac.jp

センター長（所属はいずれも創造工学科）
菊田 和重（機械系）　Tel＆Fax：0144-67-8010　kikuta@tomakomai-ct.ac.jp

副センター長
岩波 俊介（応用化学・生物系）　Tel＆Fax：0144-67-8942　iwanami@tomakomai-ct.ac.jp

センター委員（五十音順）
伊藤 芳浩（電気電子系）
岩波 俊介（応用化学・生物系）
菊田 和重（機械系）
須田 孝徳（機械系）
多田 光宏（総合人文科学系）
照井 文哉（技術教育支援センター）
吉村 斎（情報科学・工学系）

北海道地区産学官連携コーディネーター
鴨田 秀一　Tel：0144-67-8950　Fax：67-0814　kamota@tomakomai-ct.ac.jp

事務部
井上 義彦（総務課長）
磯部 隆秀（総務課課長補佐）

【企画調査係】村田 雅彦（係長）　Tel：0144-67-8901
小田 涼太　Tel：0144-67-8926　Fax：67-0814　kikaku@tomakomai-ct.ac.jp

●各種共同研究、受託研究、受託試験、技術相談を承っています。
●公開講座、出前授業のご要望にもお応えします。
当センターのHP：http://www2.tomakomai-ct.ac.jp/facility/ccrc/

センター外観

本校の位置

教職員シーズ集

web版シーズ集：http://www2.tomakomai-ct.ac.jp/collaborate/seeds　最新版はWeb版をご覧ください

退職にあたって

退職にあたって

環境都市工学科教授
廣川 一巳

長いもので、２０１６年3月31日で苫小牧工業高等専門学校に40年10ヶ月務めさせて頂きました。初めて苫小牧高専に来た時の印象は、国鉄錦岡駅で降り立ったときに駅員にかなり遠くの煙突を指さし「あそこが高専ですよ」から始まったことを今でも覚えています。

土木工学科の教員に採用になり、環境都市工学科、高専の独法化、そして創造工学科と大きく変わった40年でもありました。変わるたびに色々なことがありますがその都度、気持ちを切り替え、対処したことが思い出されます。

学生の雰囲気も40年の間にかなり変化しております。着任したころは、印象として、かなり個性もあり、おじさんの様な雰囲気がありました。10年、20年と経つにつれ学生の区別がつきにくい個性のない雰囲気を持った学生が増えてきたような気がします。

最後に長い間お世話になり支えて頂きました教職員の皆様、教えることの難しさを教えてくれた学生諸君（卒業生を含む）に心からお礼申し上げます。

定年退職を迎えて

電気電子工学科教授
長谷川 博一

私が昭和五十一年に苫小牧高専に赴任してきて四十年が経ちました。赴任した当時は守衛所に守衛さんが居られ、毎朝の挨拶から一日が始まった至極のんびりした時代でした。しかし、学校の発展にともない授業・実験のみならず、学外活動も含め色々な仕事をさせて頂きました。その多忙中にあっても、常に傍に学生達がおり、彼らと共に学び、考え、助けられたことで、今の私があると思い彼らに感謝するこの頃です。退職の前のこの一年間、多くの卒業生が私の処に訪ねて来てくれ、昔話、現在の仕事、母校の現状などを話し合い楽しいひと時を過ごさせてもらいました。その姿の頼もしさを心より喜び、教育は即効的なものもあるが、永い時と共に効果が顕れるものであると感じております。本校の教育制度が大きく変わるこのときに退職を迎えることに感無量の思いを持ちながら、苫小牧高専の益々のご清栄とご活躍をお祈りしつつ、長い間お世話になり支えて頂きました教職員の皆様に心から御礼申し上げます。

教師と教員

物質工学科 特任教授
藤井 清志

この3月末で38年間の教員生活を終えることになりました。これまで多くの方々に支えていただき、どうにか無事に職責を果たすことができました。この場を借りて厚く御礼申しあげます。

さて、昭和53年4月に「文部教官教育職（四）5等級」で「文部教官助手」として採用されましたが、平成6年には学科改組に伴い「助教授　物質工学科」に配置換となり、平成13年には省庁再編により「文部科学教官」にかわり、さらに平成16年には独立行政法人化されたため「独立行政法人国立高等専門学校機構教育職員」教授となり、平成26年度末で定年を迎えました。その後再雇用では「特任教授」とめまぐるしく職名が変わってきましたが、この名称で教員生活を終えることになりました。

職名はいろいろと変わりましたが教員であることに違いは無く、学生に対して真剣勝負の毎日でした。それも退職をもって終わりとなりますが、町で卒業生に会えば、おそらく「先生」と呼ばれることは続くでしょう。ですから「教員」を卒業しても「教師」として学生に恥じないよう自分を律することを続けなければと覚悟をあらたにしております。

人事異動

平成二十八年三月三十一日付

教育職員

【定年退職】
機械工学科教授　**浅野 政之**
電気電子工学科教授　**長谷川 博一**
環境都市工学科教授　**廣川 一巳**

【辞職】
理系総合学科准教授（北海道科学大学工学部教授）　**小島 洋一郎**
文系総合学科准教授（室蘭工業大学大学院工学研究科准教授）　**小野 真嗣**

【雇用期間の満了】
文系総合学科准教授　**牧之内 友**
物質工学科特任教授　**藤井 清志**

事務職員・技術職員

【定年退職】
事務部長　**佐藤 道之**
技術教育支援センター事務補佐員　**照井 洋子**

【辞職】
総務課長（北海道大学財務部資産運用管理課長）　**高野 雅広**
総務課課長補佐（財務担当）（北海道教育大学学務部学生課副課長）　**能戸 保**
総務課財務係長（北海道大学監査室係長（監査担当））　**尾留川 瑞樹**
総務課調達係（出向時の所属※小樽商科大学に出向中（小樽商科大学））　**古川 瑞枝**
技術教育支援センター技術職員（京都工芸繊維大学）　**岩橋 優**

【雇用期間の満了】
学生課看護師　**大森 明美**

平成二十八年四月一日付

教育職員

【採用（新規採用）】
創造工学科助教（応用化学・生物系担当）　**藤田 彩華**
創造工学科特命教授（機械系担当）　**須田 孝徳**
創造工学科特命准教授（都市・環境系担当）　**長谷川 聡**
創造工学科特命助教（総合人文科学系担当）　**若木 愛弓**

【配置換（高専間配置換）】
創造工学科教授（総合人文科学系担当）（東京工業高等専門学校教授）　**松田 奏保**

【育児休業からの復帰】
創造工学科准教授（総合人文科学系担当）　**佐々木 彩**

【再雇用】
創造工学科特任教授（フルタイム）（機械系担当）　**加島 正**
創造工学科特任教授（フルタイム）（機械系担当）　**浅野 政之**
創造工学科嘱託教授（短時間）（都市・環境系担当）　**廣川 一巳**

事務職員・技術職員

【採用】
事務部長（北海道大学研究推進部産学連携課長）　**伊藤 恒明**
総務課課長補佐（財務担当）（室蘭工業大学総務グループ総務ユニットリーダー）　**養田 学**
（新規採用）
技術教育支援センター技術職員　**岸本 亮太**
学生課教務係事務補佐員　**三好 なつみ**
学生課学生係事務補佐員　**渡辺 郁子**
学生課看護師　**山本 佳小里**

【昇任】
総務課財務係長（総務課財務係主任）　**鈴木 良**
総務課総務係主任（学生課寮務係）　**齊藤 里奈**

【配置換（高専間配置換含む）及び所属係の指示】
総務課長（釧路工業高等専門学校総務課長）　**井上 義彦**
総務課総務係長（学生課教務係長）　**森 博和**
総務課企画調査係長（総務課総務係長）　**村田 雅彦**
学生課教務係長（学生課学生係長）　**後藤 悠介**
学生課学生係長（学生課寮務係長）　**吉田 智昭**
学生課寮務係長（総務課企画調査係長）　**小笠原 智紀**
学生課寮務係主任（学生課教務係主任）　**酒井 洋美**

【復帰】
学生課教務係主任（北海道大学医学系事務部総務課主任（庶務担当））　**大西 朋子**
総務課財務係（北海道教育大学財務部経理課経理グループ）　**今野 みちる**
学生課教務係（本部事務局人事課）　**新井田 知果**

【育児休業の更新】
（平成28年4月1日～平成29年3月31日まで）
総務課一般職員　**工藤 未帆**

【雇用期間の更新】
（平成28年4月1日～平成29年3月31日まで）
総務課財務係　**板林 麻里愛**

【出向】
北海道大学医学系事務部総務課（庶務担当）　**小幡 修平**
（学生課教務係）　**吉田 洋介**
室蘭工業大学契約室（総務課総務係）

※平成28年4月改組に係る創造工学科への配置換については省略。

教育理念・学習目標等（平成25年４月改定）

教育理念

豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。

本科学生の学習目標

- Ⅰ 人間性：正課、行事、課外活動等を通して、豊かな人間性と教養および自主自律の精神を身につける。
- Ⅱ 実践性：創造力の基礎として、実践力および将来に向けて自らを向上させる学習習慣を身につける。
- Ⅲ 国際性：世界に目を向ける姿勢と教養およびコミュニケーションの基礎能力を身につける。

専攻科学生の学習目標

- Ⅰ 人間性：正課、校外活動等を通して、豊かな人間性と教養および広い視野を身につける。
- Ⅱ 創造性：複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力を身につける。
- Ⅲ 国際性：グローバルに活躍するための教養とコミュニケーション能力および相互理解の精神を身につける。

※ 専攻科で育成しようとする技術者像は、「教育理念」および「専攻科学生の学習目標」

「“環境・生産システム工学”教育プログラム」の学習・教育到達目標　（対象：　本科第４学年～専攻科）

（A）**教 養**：地球的視点で自然や環境を考え、歴史、文化、社会などについて広い視野を身につける。
（B）**倫理と責任**：技術者としての倫理観や責任感を身につける。
（C）**コミュニケーション**：日本語で記述、発表、討論するプレゼンテーション能力と国際的な場でコミュニケーションをとるための語学力の基礎能力を身につける。
（D）**工学基礎**：数学、自然科学、情報技術および工学の基礎知識と応用力を身につける。
（E）**継続的学習**：技術者としての自覚を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につける。
（F）**専門の実践技術**：ものづくりに関係する工学分野のうち、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける。
（G）**複合領域の実践技術**：他の専門領域も理解し、自身の専門領域と複合して考察し、境界領域の問題解決に適用できる応用技術を身につける。
（H）**社会と時代が求める技術**：社会や時代が要求する技術を認識し、それらを応用してシステム化や製品化するデザイン能力、開発能力、とりまとめ能力を身につける。
（I）**チームワーク**：自身の専門領域の技術者とは勿論のこと、他領域の技術者ともチームを組み、計画的かつ円滑に仕事を遂行できる能力を身につける。

英語コミュニケーション能力の学年目標

第１学年：英検準２級
第２学年：英検準２級～２級
第３学年：英検２級
第４学年：TOEICスコア450
第５学年：TOEICスコア500
専攻科第１学年：TOEICスコア550
専攻科第２学年：TOEICスコア600
（大手企業が大学卒業者に求めるTOEICスコアは、およそ600以上）

研究の目的・社会貢献の目的

学術の進展に教育内容を即応させるため、必要な研究を行う。また、研究活動や地域への教育活動等を通して、地域・社会の発展に寄与する。

TOPICS

TOPICS 01 創造工学科

今年度、本校はこれまでの５つの専門学科を「創造工学科」の１学科に改組しました。

創造工学科では、1年生は系を定めない混合学級で、2年生から５つの系に分かれて専門分野を学びます。

TOPICS 02 本校学生が第１種電気主任技術者試験に合格しました

本校電気電子工学5年(合格時)の川村悠太君が第１種電気主任技術者試験に合格しました。

本資格は、全国の電力エネルギー関係の技術者が挑戦している最も難易度の高い試験です。一次試験受験者1563人のうち二次試験まで合格したのはわずか105人です。

川村君は、3年生のときに本校教員から電気主任技術者試験の受験を勧められたことをきっかけに、3種、2種そして1種試験を受験し、全て1度目の試験で合格しました。

平成28年4月から長岡科学技術大学に在学しており、さらなる研究に励みます。

TOPICS 03 学生寮で入寮式・新入寮生歓迎会が行われました

平成28年４月５日（火）15時より、入学式に先立って本校学生寮において入寮式が行われました。第１学年男子56名、第１学年女子14名、第３学年へ編入する留学生３名、合わせて73名が入寮しました。三河寮務主事からの入寮許可宣言のあと、在寮生を代表して男子寮・女子寮それぞれの寮長が歓迎の言葉を贈り、新入寮生代表がこれからの決意を込めて宣誓を行いました。

この日から新入寮生達は、それぞれの夢の実現のため、学習環境の整った蒼冥寮・楓和寮での生活をスタートしました。

また、４月7日（木）には、新入寮生歓迎会を楓和寮は18時から多目的ホールで、蒼冥寮は19時から食堂で行いました。どちらも例年どおり寮長や指導寮生の挨拶、新入生の自己紹介等が楽しく行われ、楓和寮ではビンゴゲームなども楽しみ、盛会のうちに終了しました。

TOPICS 04 平成28年度第1学年オリエンテーションを実施しました

平成28年5月12日(木)から13日(金)の２日間、洞爺サンパレス（洞爺湖温泉）において、第1学年オリエンテーションを実施し、学生・教職員合わせて222名が参加しました。

この行事は、「（1）高専生活をスタートする上での生活や学習上の注意点を理解する。（2）学校生活の目標を定める。（3）クラス・学年の親睦を図る。」ことを目的に実施されており、開講式の後、キャリアセンター講演（コミュニケーションゲーム）のほか、交歓会、性に関する講演会、発表会などが行われました。学生は普段と違った環境の中真剣に行事に取り組み、クラスメイトとの交流も深まりました。

TOPICS 05 全校防災訓練を実施しました

5月16日（月）の4時間目に平成28年度の防災訓練を実施しました。防災訓練は、本校消防計画に基づいて毎年前期に実施しているもので、今年度は11：55に浦河沖を震源とする地震が発生し、校内で火災が発生したとの想定でおこなわれました。

苫小牧市消防署錦岡出張所から4名の署員が消防車で出動いただき、全学生、教職員が徒歩や避難袋でグランドに避難し、約15分間で人員確認が完了しました。訓練完了後、錦岡出張所の山部副所長と黒川校長から講評がありました。5年前の3月11日には東日本大震災、さらに今年は4月に熊本地震による甚大な被害がありました。今回の訓練を、災害への備えを考えるきっかけにしたいものです。

TOPICS 06 学生寮で母の日のカーネーションが贈られました

平成28年5月13日（金）に母の日にちなみ、寮で働く女性（教職員、厨房の調理師、清掃作業員の方など）に日頃の感謝を込めてカーネーションが贈られました。

寮生会の執行部の学生が、感謝の言葉とともに、それぞれ１本ずつ手渡しました。

TOPICS 07 書道部がイオンモール苫小牧で書道パフォーマンスをしました

平成28年5月1日（日）11時からと13時からの2回、イオンモール苫小牧で書道パフォーマンスをしました。午前の部、午後の部とも1階・2階に多数の来場者がつめかけ、音楽に合わせた力強い書道パフォーマンスに歓声と大きな拍手をいただきました。

高専通信

苫小牧工業高等専門学校

VOL.142 CONTENTS

01　入学式・新入生へ贈る言葉 校長 黒川一哉
02　在校生からのメッセージ／1学年担任からのメッセージ
03　副校長・各主事ごあいさつ
04　新任教員ごあいさつ／新入留学生紹介
05　学生会の紹介／留学生の母国紹介
06　学生課からのお知らせ／行事予定
07　卒業式・卒業生へ贈る言葉 校長 黒川一哉
08　卒業生から贈る言葉
09　父母の言葉／ PhotoGallery
10　就職と進学
11　地域への貢献と連携のために「地域共同研究センター」の果たす役割／地域共同研究センターの体制
12　退職にあたって／人事異動
13　教育理念／ TOPICS

編集後記

今年度最初の高専通信は、昨年度末から今年度の始まりにかけての話題をお届けしました。別れがあり、そして新たな出会いがありました。高専通信では、学校での出来事を今年度も3回に分けて皆様にお伝えします。この春から苫小牧高専は大きく変わり、これまでの5学科は「創造工学科」に改組されました。今年度の新入学生は、創造工学科の第一期生になります。

高専通信では学校の様子を詳しく皆様にお届けしておりますが、最新のニュースは本校のホームページにも掲載されております。また本校にはFacebookのページもございます。こちらはホームページより若干カジュアルな情報を配信しております。是非そちらもご覧ください。

総務主事補　二橋創平

《高専通信に関するお問い合せ先》

苫小牧工業高等専門学校　総務課総務係　〒059-1275　苫小牧市字錦岡 443
TEL0144-67-0213　メールアドレス　pub_info@tomakomai-ct.ac.jp